



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月8日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 東  
 コード番号 9319 URL <https://www.chuosoko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木村 正和  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 山口 治彦 TEL 075-313-6151  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,438	4.6	1,003	△14.7	1,197	△14.9	813	△15.1
2023年3月期第2四半期	12,841	9.0	1,176	15.5	1,405	24.8	959	28.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,378百万円 (55.8%) 2023年3月期第2四半期 885百万円 (△41.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	42.87	—
2023年3月期第2四半期	50.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	56,170	43,912	77.7
2023年3月期	56,152	42,830	75.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 43,644百万円 2023年3月期 42,566百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	16.00	28.00
2024年3月期	—	13.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	6.3	2,300	9.1	2,580	6.0	1,700	△0.5	89.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	19,064,897株	2023年3月期	19,064,897株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	73,094株	2023年3月期	81,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	18,985,788株	2023年3月期2Q	18,975,523株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2023年11月24日（金）に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類見直しによる行動制限の解除により経済活動の正常化の動きがみられる一方、ウクライナ情勢の長期化などに起因するエネルギーや原材料価格の高騰や円安などの状況の中、先行き不透明な状況が続いております。

物流業界におきましても、保管残高は高い水準で推移しておりますが、このような物価高などの経済情勢の影響を受け、貨物の荷動きは低調となっております。加えて、人件費や燃料価格の高止まりなどによるコスト増加もあり、厳しい経営環境で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは第7次中期経営計画「Let's TRY! 2024」の2年度目として、自ら能動的に行動する「自身にTRY!」、挑戦する風土を創って、分かち合う「組織でTRY!」、社会に応える・つなげる「社会へTRY!」の3つのTRY!に取り組み、施策展開を行っております。

具体的には、滋賀県大津市において新たな物流拠点となる滋賀支店大津営業所を2023年6月に開設し、また、豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社の物流取扱量の拡大に継続して取り組んでおります。加えて、2023年1月に子会社化した株式会社テスパックとのシナジー効果による梱包業のさらなる強化にも注力しております。

併せて、汎用業務の集約を目的とした事務センターの拠点集約を進めるとともに、現場作業のデジタル化、業務の効率化、業務品質の向上に継続して取り組んでおります。さらに、環境に配慮したグリーン経営の推進に取り組むとともに、サステナビリティ基本方針に基づきサステナビリティ委員会及びサステナビリティ推進委員会の活動などを通じ、持続的な成長と企業価値向上を目指し、サステナビリティを巡る課題に具体的に取組んでおります。

また、2023年7月にSDGs私募債の発行を行い営業所近隣の小学校に寄付をするなど、地域社会との関わりを重視した事業運営にも取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、貨物保管残高が高い水準で維持されたことや輸送付随業務等への取組みなどの効果により13,438百万円（前年同期比4.6%増）となりましたが、営業利益は、新たに子会社となった株式会社テスパックの利益が加わったものの、滋賀支店大津営業所開設に伴う一時費用や減価償却費が増加したことに加え、燃料・動力費の高止まりや貨物保管残高の増加に対応するための外注費用の増加などもあり、1,003百万円（前年同期比14.7%減）となりました。また、経常利益は政策保有株式の縮減などにより受取配当金が減少したことなどもあり1,197百万円（前年同期比14.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は813百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### （国内物流事業）

倉庫業におきましては、自社倉庫及び再寄託先も含めた貨物保管残高は前年同期に比し増加しましたが、入出庫高は荷動きの低下により減少しました。また、運送業につきましては、倉庫保管貨物に係る輸送量の減少を輸送付随業務等への取組みなどによる保管外貨物輸送量の増加がカバーし、国内貨物輸送取扱量は前年同期に比し増加しました。

これらの結果、国内物流事業の営業収益は10,729百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は、滋賀支店大津営業所開設に係る費用や再寄託貨物が増加したことによる外注費用などが増加したことから1,151百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

#### （国際貨物事業）

通関業におきましては、取扱数量は、輸出は前年同期に比し増加したものの輸入は為替の影響などをを受けて減少しました。梱包業におきましては、取扱量は新たに子会社となりました株式会社テスパックの取扱高も加わったこともあり前年同期に比し増加しました。

これらの結果、国際貨物事業の営業収益は、株式会社テスパックの損益が加わったことなどから2,627百万円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益は252百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

#### （不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業につきましては、京都梅小路地区宿泊施設の賃貸を開始したことなどに伴い、前連結会計年度より報告セグメントとして区分しております。賃貸不動産物件について、前年同期と変更はありません。

不動産賃貸事業の営業収益は178百万円（前年同期比増減なし）、セグメント利益は新たに費用として固定資産税等が発生したことから76百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

なお、物流用途不動産の賃貸につきましては、従来通り国内物流事業セグメントに区分しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ17百万円増の56,170百万円となりました。これは主に、滋賀支店大津営業所建築工事竣工による本資産勘定への振替により固定資産の建物及び構築物が2,490百万円、投資有価証券が評価益の増加により798百万円、それぞれ増加しましたが、流動資産の現金及び預金が設備資金や配当金の支払いなどにより1,381百万円、固定資産の建設仮勘定が本資産勘定への振替により2,254百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,064百万円減の12,257百万円となりました。これは主に、固定負債の繰延税金負債が投資有価証券の評価益の増加などにより281百万円、社債が新規発行により100百万円、それぞれ増加しましたが、流動負債の支払手形および営業未払金が327百万円、未払法人税等が169百万円、短期借入金が100百万円、固定負債の長期借入金が新規借入があったものの返済の進行により156百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,082百万円増の43,912百万円となりました。これは主に、利益剰余金が510百万円、その他有価証券評価差額金が562百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.9ポイント増の77.7%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,379百万円（28.0%）減少し、当第2四半期連結会計期間末には3,543百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は632百万円の増加（前年同期は1,989百万円の増加）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1,189百万円、減価償却費878百万円であります。また、主な減少要因は、前払費用等の増加によるその他の資産の増加421百万円、未払消費税等の減少413百万円、法人税等の支払473百万円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は1,499百万円の減少（前年同期は2,799百万円の減少）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出1,359百万円であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は511百万円の減少（前年同期は1百万円の増加）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入180百万円、社債の発行による収入100百万円であります。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出351百万円、配当金の支払303百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は予想を下回っておりますが、一時的な要因による影響が大きいととらまえており、現時点においては、2023年5月13日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,632,040	7,250,671
受取手形	325,746	344,646
営業未収入金	4,755,076	4,483,148
貯蔵品	35,421	33,944
その他	316,312	771,956
貸倒引当金	△1,054	△821
流動資産合計	14,063,542	12,883,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,644,995	18,135,528
機械装置及び運搬具（純額）	663,498	875,974
土地	12,463,472	12,463,472
リース資産（純額）	787,059	760,264
建設仮勘定	2,265,422	10,867
その他（純額）	125,672	136,912
有形固定資産合計	31,950,121	32,383,017
無形固定資産		
のれん	51,918	48,210
その他	81,673	74,142
無形固定資産合計	133,592	122,352
投資その他の資産		
投資有価証券	9,451,951	10,250,563
繰延税金資産	46,223	38,818
退職給付に係る資産	162,588	168,625
その他	345,554	328,852
貸倒引当金	△1,419	△5,662
投資その他の資産合計	10,004,898	10,781,197
固定資産合計	42,088,611	43,286,568
資産合計	56,152,154	56,170,114

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,897,371	1,570,140
短期借入金	3,070,000	2,970,000
1年内返済予定の長期借入金	698,746	683,780
リース債務	84,335	91,541
未払法人税等	488,179	318,309
賞与引当金	333,463	305,506
役員賞与引当金	41,300	19,000
その他	1,269,520	681,835
流動負債合計	7,882,916	6,640,113
固定負債		
長期借入金	2,698,676	2,542,144
社債	100,000	200,000
リース債務	825,378	789,958
繰延税金負債	1,190,957	1,472,421
退職給付に係る負債	160,547	171,598
その他	463,624	441,015
固定負債合計	5,439,184	5,617,136
負債合計	13,322,100	12,257,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	33,755,536	34,265,860
自己株式	△87,008	△78,010
株主資本合計	38,666,630	39,185,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,745,615	4,307,913
為替換算調整勘定	13,601	23,279
退職給付に係る調整累計額	140,896	127,839
その他の包括利益累計額合計	3,900,113	4,459,032
非支配株主持分	263,309	267,878
純資産合計	42,830,053	43,912,864
負債純資産合計	56,152,154	56,170,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益	12,841,706	13,438,318
営業原価	11,241,341	11,910,291
営業総利益	1,600,365	1,528,027
販売費及び一般管理費	423,833	524,982
営業利益	1,176,531	1,003,044
営業外収益		
受取利息	47	35
受取配当金	228,705	215,062
社宅使用料	7,843	7,686
持分法による投資利益	15,240	6,697
その他	16,351	13,702
営業外収益合計	268,189	243,184
営業外費用		
支払利息	33,962	42,656
その他	4,763	6,413
営業外費用合計	38,726	49,070
経常利益	1,405,995	1,197,158
特別利益		
固定資産売却益	475	2,017
特別利益合計	475	2,017
特別損失		
固定資産売却損	793	1,257
固定資産除却損	1,110	8,087
特別損失合計	1,903	9,345
税金等調整前四半期純利益	1,404,567	1,189,830
法人税、住民税及び事業税	440,151	311,100
法人税等調整額	△5,429	56,877
法人税等合計	434,722	367,978
四半期純利益	969,845	821,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,687	7,937
親会社株主に帰属する四半期純利益	959,157	813,915



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	969,845	821,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84,479	560,189
退職給付に係る調整額	△12,150	△13,056
持分法適用会社に対する持分相当額	11,889	9,677
その他の包括利益合計	△84,740	556,810
四半期包括利益	885,104	1,378,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	876,243	1,372,833
非支配株主に係る四半期包括利益	8,860	5,829

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,404,567	1,189,830
減価償却費	729,363	878,828
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△11	4,010
賞与引当金の増減額（△は減少）	13,445	△27,957
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△22,200	△22,300
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△15,284	△14,162
受取利息及び受取配当金	△228,752	△215,098
支払利息	33,962	42,656
持分法による投資損益（△は益）	△15,240	△6,697
為替差損益（△は益）	△34	△31
固定資産除却損	1,110	8,087
固定資産売却損益（△は益）	317	△759
営業債権の増減額（△は増加）	240,249	253,029
棚卸資産の増減額（△は増加）	△4,377	1,477
その他の資産の増減額（△は増加）	59,948	△421,084
営業債務の増減額（△は減少）	△114,313	△327,230
未払消費税等の増減額（△は減少）	227,545	△413,835
その他の負債の増減額（△は減少）	△53,564	△6,734
その他	3,696	4,960
小計	2,260,427	926,989
利息及び配当金の受取額	229,252	220,102
利息の支払額	△21,611	△41,486
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△478,476	△473,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,989,592	632,220
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△5,950
定期預金の払戻による収入	—	7,800
有形固定資産の取得による支出	△2,710,442	△1,359,830
有形固定資産の売却による収入	2,597	7,259
有形固定資産の除却による支出	△85,000	△145,905
その他	△6,783	△3,174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,799,628	△1,499,800
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額（△は減少）	△10,000	△100,000
長期借入れによる収入	540,000	180,000
長期借入金の返済による支出	△254,750	△351,498
社債の発行による収入	—	100,000
リース債務の返済による支出	△5,830	△35,991
自己株式の取得による支出	△47	△81
配当金の支払額	△267,089	△303,140
非支配株主への配当金の支払額	△1,260	△1,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,022	△511,970
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	31
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△808,979	△1,379,518
現金及び現金同等物の期首残高	3,726,026	4,922,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,917,047	3,543,421

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内物流 事業	国際貨物 事業	不動産賃貸 事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる 収益	10,103,121	2,377,362	—	12,480,483	—	12,480,483
その他の収益	182,541	—	178,681	361,223	—	361,223
外部顧客への営業収益	10,285,662	2,377,362	178,681	12,841,706	—	12,841,706
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	97,576	—	—	97,576	△97,576	—
計	10,383,239	2,377,362	178,681	12,939,283	△97,576	12,841,706
セグメント利益	1,257,885	233,865	89,548	1,581,299	△404,767	1,176,531

(注) 1. セグメント利益の調整額△404,767千円には、セグメント間取引消去27千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△404,794千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内物流 事業	国際貨物 事業	不動産賃貸 事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる 収益	10,453,206	2,627,838	—	13,081,044	—	13,081,044
その他の収益	178,592	—	178,681	357,274	—	357,274
外部顧客への営業収益	10,631,798	2,627,838	178,681	13,438,318	—	13,438,318
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	97,697	—	—	97,697	△97,697	—
計	10,729,495	2,627,838	178,681	13,536,016	△97,697	13,438,318
セグメント利益	1,151,207	252,231	76,952	1,480,392	△477,348	1,003,044

(注) 1. セグメント利益の調整額△477,348千円には、セグメント間取引消去△80千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△477,267千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。